

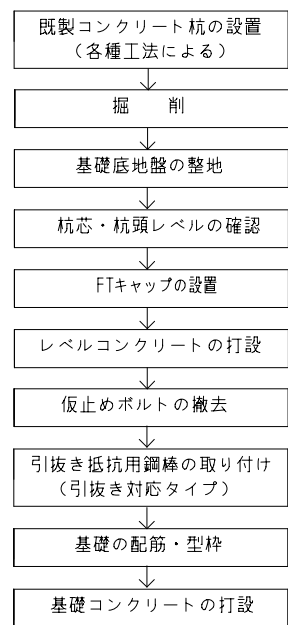
■ 構法概要

1. 本構法は、地震時の杭基礎の損傷低減を目的とした杭頭接合方法であり、既製コンクリート杭に用いる。
2. 杭頭を基礎（パイルキャップ）へ50～150mmの範囲で埋め込み、埋め込み部分において杭外周部とパイルキャップの界面にテーパ状のクリアランスを設ける。
3. 杭頭接合方法は、地震時に杭頭に引抜き力が作用しない箇所に適用する標準タイプと、引抜き力が作用する箇所にも適用できる引抜き対応タイプの2タイプがある。
4. 引抜き対応タイプでは、引抜き抵抗用鋼棒を杭頭にカブラーを用いて設置し、基礎側端部には定着板を取り付ける。

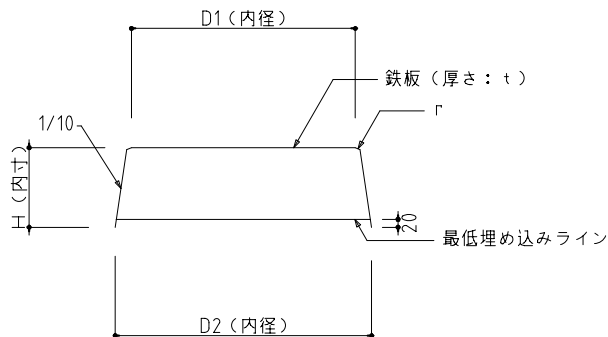
■使用材料（適用範囲）

- ・杭 : SC杭
- ・杭径 : 400mm~1200mm
- ・コンクリート（基礎（パイルキャップ）部） : 普通コンクリート 設計基準強度：18~60 N/mm²
(法第37条第一号もしくは第二号に該当するコンクリート)
- ・鋼材
 - ・引抜き抵抗用鋼棒
 - ・F.T.Pile構法用アンカー鋼棒 大臣認定：MSRB-0026
 - ・SBPR 785/1030 (φ11-A種PC鋼棒) ,F=785 N/mm²
 - ・SBPR 1080/1230 (φ11-C種PC鋼棒) ,F=1080 N/mm²
 - ・カプラー
 - ・S45C SNR490B
 - ・定着板
 - ・S400 SM400A
 - ・高ナット
 - ・S45C SNR490B
 - ・杭体内アンカー鉄筋
 - ・SD345 SD390

■ 施工手順



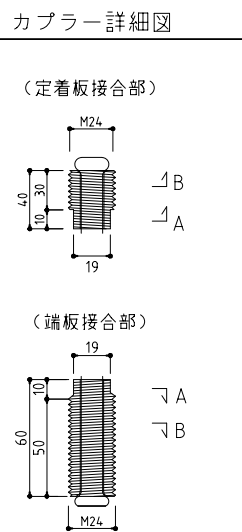
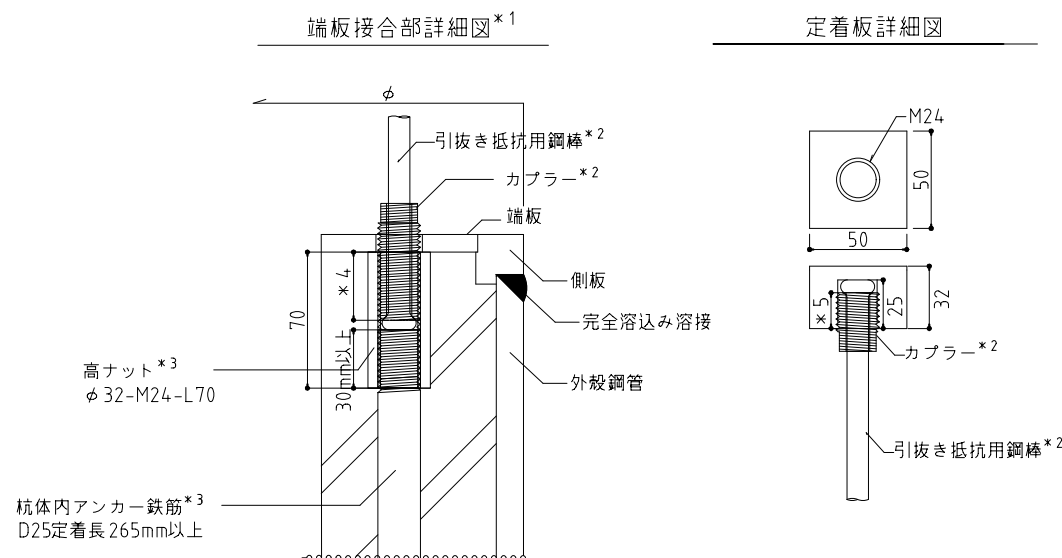
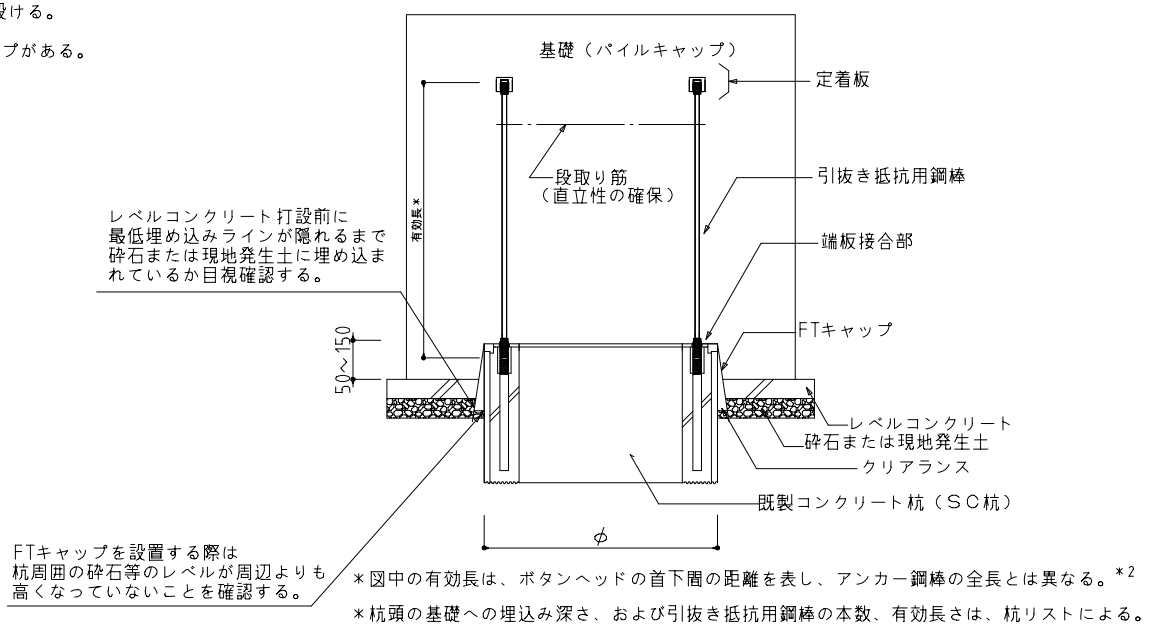
■FTキャップ（テーパー型枠）仕様



坑径: φ	鉄板厚さ: t (mm)	D1(mm)	D2(mm)	H (mm)	r(mm)	W(kg)
400	1.2	401	445	201	2.0	2.7
450	1.2	451	495	201	2.0	3.2
500	1.2	501	545	201	2.0	3.8
600	1.6	601	645	201	2.0	7.2
700	1.6	701	745	201	2.0	9.0
800	2.0	801	845	201	2.0	13.8
900	2.0	901	945	201	2.0	17.4
1000	2.3	1001	1045	201	2.0	23.9
1100	3.2	1101	1145	201	2.0	38.6
1200	3.2	1201	1245	201	2.0	44.3

- ※FTキャップの品質管理は製作工場で行われているため、施工時には下記の確認を行う。
- ・FTキャップに「FTP」の刻印があること。
 - ・FTキャップに変形や損傷がないこと。

■ 杭頭部詳細図



断面詳細図



- *1 施工時は、納入された杭材が引抜き対応タイプであることを、杭体の表示で確認すること。
- *2 施工時は、引抜き抵抗用鋼棒及び、カプラー、定着板の仕様（材質、寸法、数量）を「引抜き抵抗用鋼棒検査書」で確認すること。
- *3 SC杭引抜き対応タイプにおけるSC杭の製造及び高ナットと杭体内アンカー鉄筋の定着長の仕様は、「F.T.Pile構法 引抜き対応タイプSC杭 製品検査表」および「同 杭頭金物検査表」を確認すること。
- *4 端板側のカプラーのネジのかかり代は、25mm以上とする。（専用の検査ゲージで計測すること）
- *5 定着板側のカプラーのネジのかかり代は、18mm以上とする。（専用の検査ゲージで計測すること）

		検 図 日		設計	設計番号	工事名	類別
		確認申請図		担当	図面番号	図面名 F.T.Pile構法 既製コンクリート杭標準図 (引抜き対応タイプ、SC杭)	縮尺 S=No
		変更修正図					
		追 加 図		担当	当図作成日 2026.07	F.T.Pile構法 既製杭協会	
		竣 工 図					